

農林水産業関連

1 令和6年度産たんかんは着果量が多い見込み

2月22日、29日、3月1日に、徳之島町と天城町でたんかんの成木および幼木の栽培講習会を実施し、計54人が参加した。

令和5年度産は着果量が少なかったが、令和6年度産は着果量が多いことが予想される。また、近年は新規栽培者が増えており、年々たんかんの生産量が増加すると思われる。

農業普及課では、防風対策などによる幼木の早期成園化と、摘果の徹底による連年安定生産に向けた支援を実施している。

